



## 勇気と元気を音色に響かせて

7月20日(月・祝)、日立システムズ「希望の響き」シリーズ東日本大震災復興祈念チャリティコンサート「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー2015仙台公演」を開催。ことしも日立システムズホール仙台のコンサートホールを舞台に、りりしく透明感のある「希望の響き」が観客を魅了した。ラストナンバーでは地元、宮城県宮城第一高等学校管弦楽部(以下宮城一高管弦楽部)とのコラボレーションも実現。力強く、若さあふれる音色を響かせた。



公演直前のリハーサルの様子

日立システムズは、東日本大震災直後からITサービスを通じた復旧・復興支援やボランティア活動などを通じた生活・環境面での支援に取り組んできた。2013年7月には仙台市が復興に向けた自主的な財源確保施策の一環として実施したネーミングライツを取得し、仙台市青年文化センターの愛称を「日立システムズホール仙台」としてスタート。同ホールを活用したコンサートやイベントを「希望の響き」シリーズとして展開し、文化面からの復興支援にも力を入れている。2015年の「希望の響き」シリーズのテーマは「未来を担う若い人材の育成への貢献」。ことしも世界中の若き演奏家を育て紹介するニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル(以下NYSE)を招き、特に若い世代に知って欲しい楽曲を選んだプログラムで、元気あふれる「希望の響き」を届ける。

NYSEを率いるのは指揮者兼音楽監督である高原守さん。今回のコンサートにこんな思いを寄せていた。

「被災地をNYSEのメンバーとともに訪問し、震災復興を目的としたこのコンサートへの思いがより深いものになりました。音楽を通して復興に向けて頑張る地域の皆さん、特に若い人たちに勇気と元気を伝えたい」

今回のツアーは若手メンバーを中心に構成し、プログラムもショパンやモーツァルトなど親しみやすい曲や聴く人に元気を与えてくれる曲を多数ラインアップした。そして、ラストを飾るのは、日本ではスポーツの応援歌などに使われる、力強く華やかな歌劇「アイダ」の凱旋(がいせん)行進曲。昨年に続き、宮城一高管弦楽部との共演も2回目となった。高原さんとNYSEメンバーは生徒たちとのリハーサルのため2度訪問。初回は曲の背景や演奏のポイントなどを丁寧に伝え、2回目は本番さながらの練習を通じて生徒たちの力を引き出していった。そして、NYSEのアドバイスを胸に宮城一高管弦楽部が練習を重ねた成果が今日、見事に開花した。



宮城一高管弦楽部 顧問 天野 綾子さん

本日はご来場ありがとうございました。昨年に続き2度目のNYSEさんとのコラボですが、指揮者・高原さんによる事前指導を含めて、生徒たちにも私にも良い経験になりました。部員は楽しく力いっぱい演奏できたと思います。今年7月28日より滋賀で行われる第39回全国高等学校総合文化祭や、毎年12月に行っている仙台第一高等学校さんと富谷高等学校さんとの合同演奏会などの活動を予定しています。また、どこかで皆さんに演奏を聴いていただける機会がありましたら、さらに良い音色をお届けできるように部員たちと共に頑張ります。今後ともよろしくお祈りします。



NYSE 指揮者兼音楽監督 高原 守さん

本日は、日立システムズ「希望の響き」シリーズ「ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル日本ツアー2015仙台公演」にお越しいただき、ありがとうございました。今年のNYSEのメンバーは演奏経験が豊富で卓越した人々と、大変若い優秀なメンバーで構成されています。若いメンバーと高校生は年齢も近いので、親しみも深まり、楽しんで演奏ができたと思います。なにごとこつこつと一歩ずつ前に進むことが大切です。被災地がが歩一歩復興に向かって歩んでいる中で、私たちの演奏で前に進むお手伝いが少しでもできればうれしいと思っています。

日立システムズ「希望の響き」シリーズ

～つなごう 集まる 羽ばたく～

2015年8月1日(土)・2日(日)

会場:日立システムズホール仙台  
(仙台市営地下鉄「旭ヶ丘駅」下車 東1番出口より徒歩3分)

**“ボレロ”大集合コンサート**

①8月1日(土)14時開演 ②8月2日(日)11時開演 ③8月2日(日)14時開演

前売・大人・子ども共通 日時指定・全席自由 各公演 **500円**

※未就学児童は無料。ただしお席が必要な場合は有料となります。

**チケット 好評発売中!**

プレイガイド

- 日立システムズホール仙台
- イズミティ21
- 仙台三越 ◎藤崎
- チケットぴあ(Pコード:266-248)
- ローンチケット(ロード:23423)
- イープラス

販売手数料がかかる場合がございます。

イベントパスポートで遊べるイベントも盛りだくさん!

“ボレロ”大集合コンサートのチケット提示でイベントパスポートを発行。2日間いろいろなイベントに参加できます。

1 おもしろサイエンスショー 防災・科学実験教室講師 阿部清人氏による実験ショー	5 郷土芸能体験ワークショップ・大室南部神楽
2 知らない世界の話をしよう～南極料理人からのメッセージ～ (南極料理人・西村 淳氏による講演会)	6 スタンプラリー
3 子どもミュージアム (1)まが玉づくり (2)和と日本づくり	7 驚きと感動のIT教室～ロボットを動かすプログラミングを体験～ (対象年齢・小学5年生以上)
4 クッキーのひろば (オーストリア政府公認マスター・八木洋司氏によるクッキー作り)	※◎は申し込み受付を終了しました。 ※◎は往復ハガキでの事前申し込みが必要。申し込み方法はwebをご覧ください。

問い合わせ先 **子どもの夢ひろばインフォメーション** (日立システムズホール仙台内)  
TEL.022-276-2110

くわしくはこちら [www.bolero-bird.com](http://www.bolero-bird.com)

“ボレロ”特別公演 日立システムズ「希望の響き」シリーズ

**小山実稚恵 30周年記念コンサート**

2015年8月1日(土) 会場:日立システムズホール仙台コンサートホール 17:00開演(16:30開場)

指揮:大野和士 ピアノ:小山実稚恵 管弦楽:仙台フィルハーモニー管弦楽団

チケット料金:全指定席 S席 ¥5,000 A席 ¥4,500  
◎ 仙台・杜の響きコンサート 022-302-3344 (平日10:00～18:00)

＜曲目＞  
ラヴェル:ピアノ協奏曲長調 ドビュッシー:「海」管弦楽のための3つの交響的素描  
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番ハ短調作品18 ラヴェル:「ボレロ」

主催:子どもの夢ひろば「ボレロ」実行委員会、株式会社日立システムズ、仙台市、仙台市民文化事業団、河北新報社、仙台放送、東日本放送  
後援:宮城県、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、復興庁  
協力:仙台フィルハーモニー管弦楽団

# ＝本番までのあゆみ＝ 宮城一高にNYSEがやってきた!



新入生も入りメンバーがかわってみんな緊張していましたが、一緒に演奏することで不安はなくなりました。皆さんがとても丁寧にアドバイスしてくださったので、練習の課題もはっきりしました。アドバイスを胸に、コンサートでは演奏を思い切り楽しみたいと思います。



管弦楽部部長・築瀬文香さん

新学期が始まって間もない4月27日(月)、NYSE指揮者の高原守さんとバイオリニストの高原守さんとバイオリニストのアレクサンドリーナ・ボヤノーバさん、伊藤舞希子さん、パーカッションのルイス・ハコメさんが宮城一高を訪問した。宮城県内の公立高校で管弦楽部があるのは唯一、宮城一高のみ。昨年7月に初めてNYSEとの共演を果たしているが、どんな変化があったのだろうか。

最初の訪問から約1カ月後の6月9日、高原さんとバイオリニストの伊藤さんが2度目の訪問。チューニング後すぐに共演する「アイド」の凱行進行曲の演奏が始まる。「間違えることを怖がらないで、自分の好きなように演奏してごらん」「いい音になってきた! 柔らかく遠くに音を届けるように演奏して」。言葉をかけながら生徒たちの集中



## 管弦楽部と コラボレーション



訪問したNYSEメンバー(左からバイオリニスト 伊藤さん、アレクサンドリーナさん、指揮者 高原さん、パーカッションルイスさん)

か。「昨年のコンサートは大きな刺激になりました。プロの音色、取り組む姿勢を間近にみて一音一音丁寧に演奏するようになりまして」と話すのは顧問の天野綾子先生。今年の共演曲は、ヴェルディの歌劇「アイド」より凱行進行曲。部員を前に、NYSEメンバーが曲の背景や演奏のポイントを説明。次回6月の再会を誓い合った。

## 約1カ月の練習成果に 笑顔の高原さん

力をどんどん高めていく高原さん。演奏に集中している生徒たちは細かなポイントも着々とマスターし、見違えるような音のハーモニーを創り上げる。高原さんも「どんどん良



練習後に全員で笑顔の記念撮影

くなっているね。一生懸命さが伝わってきてうれしいです」と満面の笑み。最後は全員に「本番当日は演奏を楽しみましょう」とエールを送った。

## NYSEメンバーが 1年生の音楽授業にも参加

管弦楽部だけでなく、1年生の二つのクラスの音楽の授業にサプライズゲストとして参加した。事前に知らされていなかった生徒からは驚きの歓声があがった。教壇に上がった高原さんは、生徒たちが練習していた校歌を、ルイスさんとともにロックやジャズ風にアレンジして生徒

と一緒に共演したほか、ボーダーパーカッションでの「作曲」にも挑戦した。生徒たちはだんだんと高原さんの創り出すリズムの世界に引き込まれた。その後、ルイスさんとアレクサンドリーナさんが、出身地の話や音楽を始めたきっかけ、自分の担当する楽器の特徴や演奏への思いなどを紹介し、生徒たちとの交流を楽しんだ。1年生の渡邊杏さんに授業の感想を聞くと、「突然の登場にびっくりしました。音楽は得意ではなかったけれど、一緒に演奏してみても音楽の奥深さに気付いたし、自由に楽しむことが大切ということが分かりました」とうれしそうに話していた。



## NYSEメンバーのコメント



指揮者兼音楽監督  
高原 守さん

復興に向かう地域の皆さんが力強く、一步一步前に進んでほしいという願いを込めて、今回のプログラムは、勇気の湧きあがる曲を選びました。宮城一高の皆さんも一生懸命練習し、とても素晴らしい演奏に仕上がりました。きっとみなさんに勇気と元気を届けられるでしょう。



バイオリニスト  
アレクサンドリーナ・ボヤノーバさん

公立の学校だと聞いていたので、勉強との両立など練習が大変なのではと思っていましたが、練習と一緒に参加してみなさんの一生懸命さに感銘を受けました。その様子を見て私自身、モチベーションがあがり、一緒に演奏するのがとても楽しみです。



バイオリニスト  
伊藤 舞希子さん

2度の練習に参加して、1カ月間という短い時間だったにもかかわらず、宮城一高生の上達ぶりにとても驚きました。今回のツアーにはNYSEも若い世代が多く参加します。彼らとの共演は刺激となって、きっとコンサートでは最高の演奏ができると思います。



パーカッション  
ルイス・ハコメさん

皆さんの練習を聴いて、すごく上手なので驚きました。僕が高校生の頃よりはるかに上手だと思います。きっと先輩から後輩へ練習の方法がしっかり引き継がれてきているのだと思います。私たちのアドバイスが少しでも皆さんの演奏に役立てばとてもうれしいです。

## メンバーは被災地・閉上も訪問

4月27日の来仙時に、高原さんとメンバーは、東日本大震災からの復興が進む名取市閉上に足を運び、閉上震災を考える会の語り部・太田千秋さんの案内で、慰霊碑や日和山、メイプル館などを訪問。震災当日から現在に至るまでの話を聞いた。

「実際に被災地に立ってニュースでは伝わらない被害の大きさを実感した」(ルイスさん)、「地元の人たちの復興させようというパワーに感動した」(アレクサンドリーナさん)。メンバーそれぞれに、現地では感じられない思いを胸に刻んだようだ。

